

特色ある取組



【広島大学病院心不全センター設立の背景】

広島大学病院心不全センターは、2012年1月に広島県新地域医療再生計画に組み入れられた「心不全地域連携サポート体制構築事業」のもと、広島県内の慢性心不全患者の再入院率低下とQOLの維持・向上を目的に開設された。

◆県内の8つの二次医療圏域すべてに「地域心臓いきいきセンター」を設置し、慢性心不全看護認定看護師、心臓リハビリテーション指導士の養成をサポート。広島大学病院心不全センターを中核として、広島県における心不全患者への包括ケアの標準化と発展を牽引してきた。【図1】

◆「心臓いきいき在宅支援施設」を公募し、当院及び県内7施設の「地域心臓いきいきセンター」との連携強化を図ることで、慢性期心不全患者の疾病管理システムの構築を目指した。【図2】

◆連携の手段として「心筋梗塞・心不全地域連携パス手帳」を県内に広く配布し、①自己管理手帳としての自己管理意識の向上、②病院とかかりつけ医との繋がり、③患者と医療者のコミュニケーションツールとして活用した。【図3】

成果・評価 など

◆平成29年度、平成30年度の2年間で、広島県内において計330施設を「心臓いきいき在宅支援施設」として認定【図4】、心臓いきいき在宅支援施設に所属するスタッフを対象とした第1回症例検討会では、39施設より81人の参加を得た。

◆医療・介護従事者を対象とした研修会をこれまでに16回開催。参加者はのべ2012人に上る。【図5】新たな試みとして、心疾患患者に対する緩和ケア啓発を目的とした広島県循環器緩和ケア研究会を開催し、第1回は223人の参加を得た。



図1 広島県内の心不全地域医療連携ネットワーク

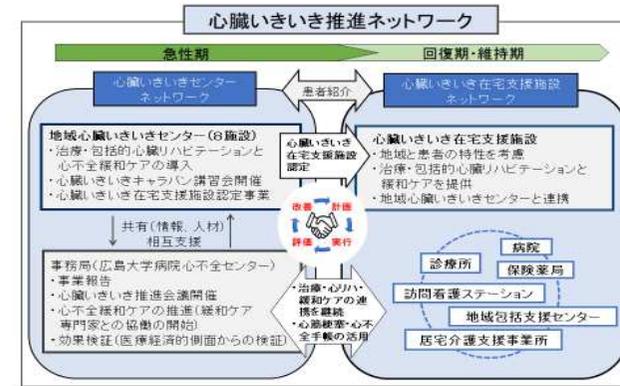


図2 広島県全域の慢性期心不全患者疾病管理システム

取材対応者



広島大学病院心不全センター長  
木原康樹 教授  
昭和54年 京都大学医学部卒  
平成20年 広島大学教授  
平成26年 同医学部長  
平成28年 広島大学副学長

参考URL

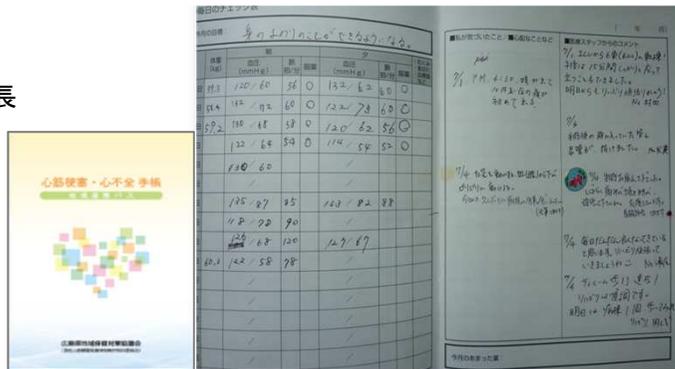


図3 心筋梗塞・心不全地域連携パス手帳



図4 心臓いきいき在宅支援施設MAP



図5 医療・介護従事者を対象とした研修会の様子